

菅田中学校だより

第6号 令和8年(2026) 10月

横浜市立菅田中学校

「互いを認め合い、夢をつくる」 <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/sugeta/>

【写真:2学年階段に掲示されているメッセージです。】



- きりかえ...授業の準備や10分休みの時間の使い方を2年生全員で見直していこう！
- 2年生から変わるには、はじめが肝心！今まで通り変わらずにいる人も努力が必要！
- 意識...学習に向かう姿勢、進路、提出物の期限、2年生として高めていこう！

「部活動の効用 - 『き・か・い』が育てる未来の力」

校長 山口 毅

この夏、本校吹奏楽部は横浜市吹奏楽コンクールで金賞を受賞し、続く神奈川県吹奏楽コンクールでは金賞に加え、朝日新聞社賞をいただき、9月19日東関東吹奏楽コンクールへの出場を決めました。(銀賞 受賞:B部門35校出場)

この素晴らしい成果は、生徒たちの不断の努力と、教職員・ご家庭や地域の皆様の温かなご支援によって実現したものです。心より感謝申し上げます。そして、皆さんと共に喜びたいと思います。

こうした活躍を目にすると、私たちはつい結果の華やかさに注目しがちです。しかし、教育の視点から見ると、本当に価値があるのは、その成果に至るまでの過程にあります。部活動は技術や技能を高める場であると同時に、一人の人間として成長するための学びの場でもあります。

本校2学年では、学年スローガンとして「き・か・い」を掲げています。

き... きりかえ 授業の準備や10分休みの時間の使い方を見直し、学校生活にメリハリをつける。

か... 変わる 2年生として成長するために、現状に満足せず、自ら変化を生み出していく。

い... 意識 学習への姿勢、進路への準備、提出物の期限などに責任をもち、自覚ある行動をとる。

私は、この「き・か・い」という言葉は、まさに部活動の教育的価値そのものを表しているように感じています。

吹奏楽部の生徒たちは、限られた時間の中で学習と部活動を両立させています。そのためには、授業と部活動の切り替え、練習への集中、時間の管理が欠かせません。まさに「きりかえ」の力です。また、良い演奏を目指すためには、昨日の自分より少しでも成長しようと努力し続けなければなりません。現状維持ではなく、自分を変えていく勇気が求められます。これは「変わる」という姿勢そのものです。そして、仲間との音の調和や演奏全体の完成度を高めるためには、一人ひとりが高い意識をもち、自分の役割に責任をもつことが必要です。そこには「意識」の力が働いています。

近年の教育研究では、学力だけでは測ることのできない「非認知能力」の重要性が注目されています。粘り強く努力する力、仲間と協力する力、自分を律する力、困難から立ち直る力などがそれにあたります。こうした力は、テストの点数には表れにくいものの、将来社会の中で生きていくための土台となる力です。また、様々な活動への参加は、学校への所属感や自己肯定感を高め、コミュニケーション能力やリーダーシップの向上にもつながることが報告されています。

考えてみると、人生そのものが「き・か・い」の連続ではないでしょうか。うまくいかない時に気持ちを切り替える力、新しい自分へと変わろうとする勇気、そして目標に向かって努力を続ける意識。これらは大人になってからも必要とされる力です。部活動は、その力を日々の実践の中で育むことのできる貴重な教育の場なのです。

今回の吹奏楽部の快挙は、生徒たちの高い演奏技術だけでなく、「きりかえ」「変わる」「意識する」という姿勢の積み重ねが生み出した成果とも言えるでしょう。そして、それは吹奏楽部だけに限ったことではありません。全生徒一人ひとりが「き・か・い」を意識して学校生活を送ることで、大きな成長につながっていくはずです。

本校ではこれからも、学習活動と部活動の両輪を大切にしながら、生徒たちの可能性を伸ばしてまいります。仲間とともに学び、挑戦し、成長していく子どもたちの姿を、今後とも温かく見守っていただければ幸いです。